

いまこそ市民ひとりひとりに寄り添った 市民の声が生きる鎌倉市政を

くらし応援、子育て支援

■ 学校給食無償化へ

小・中学校とも学校給食を無償化している自治体は全国で547にのぼり、神奈川県内では2市4町1村に広がっています。鎌倉市も無償化をすすめるべきです

■ 保育の負担軽く

第2子無償化の年齢制限をなくす
保育園の食費の保護者負担を減らす

■ 防災体制の強化を

沿岸地域を中心に津波避難路の整備
小学校体育館の空調設備、トイレの洋式化

■ 子どもの居場所確保

乳児から青少年まで異年齢の
居場所づくり促進

■ バスの増便

市の責任でバスなど公共交通改善
高齢者バス補助制度の拡充



吉岡和江

日本共産党 市議会議員 よしおかかずえ

プロフィール▼北里大学卒。清泉小教諭、たんぼぼ保育園保育士。1993年に市議初当選以来8期、副議長、観光厚生常任委員長、県後期高齢者医療広域連合議会議員などを歴任。現在、教育福祉常任委員長、日本共産党鎌倉市会議員団团长。夫と2人暮らし。梶原在住。

- 文化財の保護、貴重な緑地保全
- 生ごみの資源化促進、戸別収集の見直し
- ジェンダー平等を市政の基本に

これでいいの？ 税金の使い方

- 「村岡新駅」に、市の負担約44億円
- 市役所本庁舎移転整備など約300億円
- くらし、子育て支援に有効活用を
財政調整基金は約88億円
※財政調整基金は市の貯金です

元気に暮らす鎌倉に

物 価高、公共料金の値上げ、景気は冷え込み、先が見えない不安が広がっています。こんなときだからこそ、国の悪政から市民の暮らし、福祉の充実をはかるのが市政の役割ではないでしょうか。

私は、市議会で暮らし、福祉、子育て、中小業者や市民の生活への支援、安全・安心対策を求めてきました。子育て支援などは一定進みましたが、一方で上下水道料金や国保・介護保険料の値上げなど市民負担が増大しています。

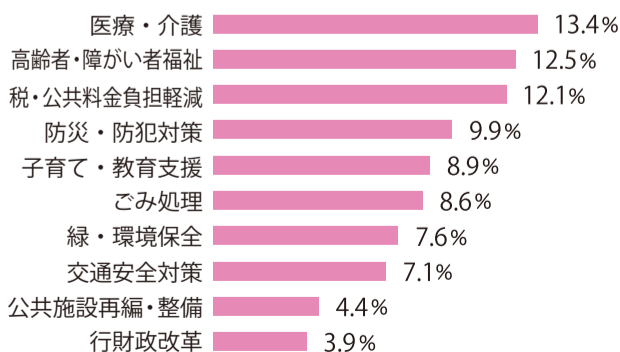
みなさんと力をあわせ、平和で緑豊かな、だれもが人間らしく暮らしていける、安心の鎌倉市政のために力をつくします。

新しい市議会できりくみます

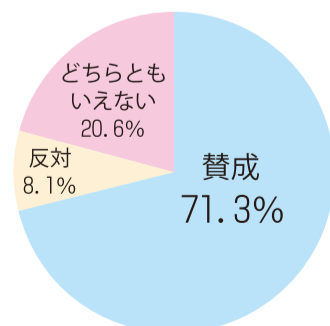
市民アンケートへのご協力
ありがとうございました

みなさんの声や要望を市政、市議会に届けます

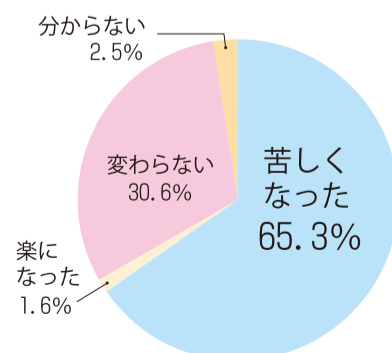
Q 鎌倉市政に力を入れてほしいこと。



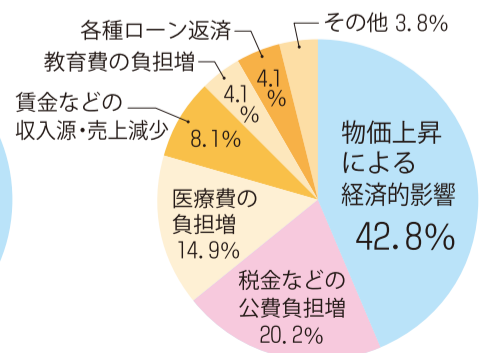
Q 高齢者割引乗車証の復活・充実



Q くらしについて



Q 苦しくなった理由(複数回答)



日本共産党の見解を紹介します。

市民ニュース 日本共産党鎌倉市委員会
〒247-0055 鎌倉市小袋谷1-6-14
2025年3月～4月号外 TEL 0467(45)1591 FAX 0467(45)4353

市民のみなさんをお願いした市政、市議会に向けた「市民アンケート」へのご協力ありがとうございました。約1600通の回答がありました。

みなさんの願いを託してください

市政を前に動かしてきました

日本共産党市議団



市民ニュース→

日本共産党市議団は、「市民こそ主人公」の立場から、税金の使い方を厳しくチェックし、暮らし、子育て・教育、まちづくりなどの願い実現へ、市政を前に動かしてきました。

18歳までの医療費無料に所得制限なくす

市民のみなさんの長年の願いだった子どもの医療費無料が拡充されました。日本共産党市議団は、無料化対象がまだゼロ歳だけだった31年前の1994年から、市民の運動と力をあわせ、市議会で何度も無料化の年齢拡充にとりくんできました。

待機児解消へ保育園の増設

共産党市議団は、待機児解消へ保育園の増設をくりかえし要望してきました。3歳未満児を受け入れる小規模保育園が民間で5カ所増設されることになりました。



高齢者バス助成制度復活へ

2014年から凍結されていた高齢者割引乗車証等の購入費助成制度が、市の2025年度予算案に盛り込まれ、不十分ではありますが復活することに。共産党市議団は市民の運動と力をあわせ、アンケートを実施し、市議会で助成制度復活を強く求めてきました。

他の会派・議員のみなさんと国への意見書可決に力をつくす

- 核兵器禁止条約への参加を求める国への意見書（2021年12月）
- 保育士の配置基準の見直しを求める意見書（2022年12月）
- 紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書（2023年9月）
- 学校給食費の無償化を国に求める意見書（2024年3月）
- 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書（2024年6月）

政治のゆがみただし ホンモノの改革をすすめます

裏金政治ストップ、企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止を 物価高が続き、所得が減っているときだから

- 1 消費税減税、インボイス廃止
- 2 中小企業支援で賃上げを
- 3 暮らせる年金へ引き上げを
- 4 学費ゼロ、値上げ中止
- 5 食料の安定供給、持続可能な農業へ

選択的夫婦別姓制度の実現 紙の保険証を残せ



党神奈川県副委員長
あさか由香



あさか由香
公式LINE



YouTube
あさか由香
チャンネル

市政の大きな問題 共産党の考えは

市民の足、バスの増便を

減便が続いている市内を走る路線バス。「外出に困っている」という声が多く寄せられています。高齢者の外出支援、元気でらせるまちづくりのうえでも、市の責任で公共交通の改善が求められています。



共産党市議団は、まちづくりと健康増進の立場で、市が責任をもってすすめるよう求めています。

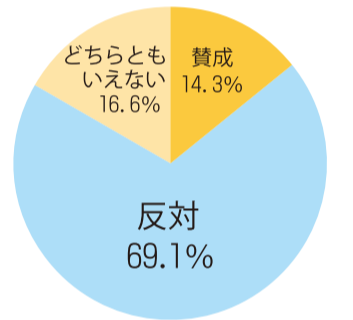
税金の使い方 厳しくただす

村岡新駅設置で 市負担約44億円 ただちに中止を

JR大船駅と藤沢駅の中間に位置する村岡地区（藤沢市）への新駅設置。鎌倉、藤沢両市、神奈川県とJR東日本がすすめるというもの。現在の工事費は約159億円。資材高騰でさらに工事費用が増額に。鎌倉市は公金（区画整理事業による土地売却費含め）約44億円を負担するというものです。

共産党市議団はいっかんして「設置ノー」と主張しています。税金の使い方を改め、暮らし優先にきりかえるべきです。

Q 村岡新駅設置について

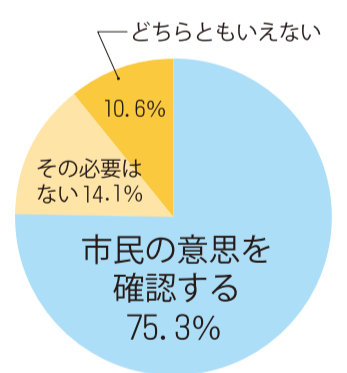


市役所本庁舎移転 市民の信問え

市役所移転計画には、深沢・大船消防と消防本部を移転合築、鎌倉・大船体育館を移転し一つにすることが含まれています。さらに現在の市役所は中央図書館、生涯学習センターなどに建替え、総額300億円以上も投じる大事業です。

市役所の位置を深沢に変更する「位置条例」は、市議会で否決されました。共産党が取り組んだアンケートでは、「賛否は市民の信を問うべき」が75%でした。共産党は現在の計画は見直すことを求めています。

Q 市役所本庁舎移転について



参議院神奈川

あさか由香プロフィール

1980年横浜市鶴見区生まれ（旧姓・金谷）／森村学園高等部、筑波大学国際総合学類卒／民間企業にシステムエンジニアとして勤務後、国際輸送業に関わる／世界から貧困と紛争をなくしたいという思いで数々のボランティアに携わり、日本共産党に入党。夫と子どもの5人家族